

# 周知に向けた取組み・プロモーション

「政策デザイン」をより多くの皆様に知っていただくために、  
さまざまな発信・広報活動を行っています。

## 政策デザインがわかる！ ガイドブックを作成

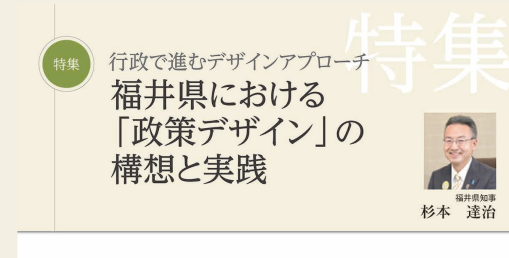


政策デザインの仕組みと参加クリエイターを紹介するガイドブックを作成。県HPで公表しています（※現物配布も可能）。政策デザインの理解促進を図っています。ネットワークの拡大にも努めており、参加クリエイターの情報も随時更新していきます。



ガイドブックはこちら↑

## 全国自治体向け情報誌に掲載



（一社）行政情報システム研究所が発行している『行政&情報システム（2022年6月号）』で、本県の政策デザインが取り上げられました。知事コメント、デザイナーも登場した事例紹介など充実した内容となっています。政策立案にデザインのアプローチを取り入れようという動きは全国的にも見られますが、まだまだ実例が少ないのが現状です。本県では今後も先駆的な活動に取り組んでいきます。



掲載内容はこちら↑

## 県内市町への 出張勉強会も受付中！



県内市町の若手職員勉強会で、政策デザインの手法や事例について発信しました。政策立案の1ツールとして、デザイン思考の活用や政策デザインの運用の仕方などを紹介。生活者目線に立った政策や公務の推進をめざす市町職員の方々に、現場での導入につなげていただけるよう情報共有を図りました。  
政策デザインの仕組みや考え方が県内市町にもより一層浸透していくよう、働きかけをしています。また、勉強会等の機会を通して他の自治体とも積極的に意見交換し、より効果の高い施策形成に結びつけられるよう努めています。

ふくい政策デザインnavi  
発行元：福井県地域戦略部未来戦略課  
0776（20）0759  
発行月：2022年9月

# ふくい政策デザイン navi

「行政マンが抱える悩みをデザイン思考で解決に導く」。

そんな「政策デザイン」という手法が、庁内のさまざまな部署で成果を上げています。  
「ふくい政策デザインnavi」ではその活用事例や最新のトピックス、  
導入の効果や活動の広がりなどをお伝えしていきます。



# 政策検討ワークショップとは

## 案件に応じたワークショップを随時開催

政策課題を抱えている行政マンと県内クリエイターとでワークショップを開催し自由に意見交換を行っています。案件に応じて各分野に知見を持つクリエイター3名程度を招き、担当課から意思決定の責任者を含む数名が参加。コーディネーターとして未来戦略課の職員も参加し、円滑に意見交換ができるようファシリテーションを行っています。2022年度は7月までに10件程を開催しています。

また、庁内でワークショップを行える場として、未来戦略課内に「パブリックデザインラボふくい」を設置。机や座席をゆったり配置した開放的な空間の中で、活発な議論やアイデアの創出を促しています。



パブリックデザインラボふくいにて

# アウト プット 事例

政策デザインから生まれた事例をご紹介します。

CASE  
01

テーマ：「福井県県民社会貢献活動推進計画」の改定  
対象：県民  
担当：県民活躍課

## 各種計画の策定にも政策デザインを

県が策定する各種計画にも政策デザインの仕組みを活用しています。今年6月には、県内クリエイター3名が学生団体やシニア世代との計画改定に向けた意見交換会に参加し、ボランティア活動者の生の声を聞くことができました。今後、促進のための要因について議論しながら方向性を定め、年度内の改定を目指していきます。



学生団体の方と意見交換



日刊県民福井3面[R4.6.7掲載]



シニア世代の方と意見交換

CASE  
02

テーマ：新卒学生等の県内企業への就職支援策  
対象：県内大学等に就いている学生(特に大学3年生)、  
県外の大学等に進学した学生(特に大学3年生)  
担当：定住交流課、労働政策課、大学私学課

## インサイト(本音)を探り、 新たなアプローチへ



企業に訪問し新入社員の方にヒアリング



日刊県民福井2面[R4.7.3掲載]

県外の大学に進学した学生のUターン就職は3割弱。深刻化する県内企業の人材不足改善に向けて、新規学卒者に県内企業への就職に関心を持ってもらう新たなアプローチを探るべく、県内企業にUターン就職した新入社員との意見交換を実施しました。県内企業4社を回り、若い

社員の本音をヒアリング。職場を選んだ決め手や、就活で困ったこと、大事にしたことなどをざっくばらんに話してもらいました。県内企業の就職を促進する新たなアプローチを模索し、効果的な施策につなげていきます。

CASE  
03

テーマ：移住定住の促進  
対象：主に首都圏等の子育て世代等  
担当：定住交流課



## “都会が嫉妬する福井の 魅力”を5つの切り口の ポスターで訴求

あえて“福井県”を前面に出さず「都会で暮らす子育て世代」をターゲットに、「仕事・遊び・住まい・子育て・暮らし」の5つの切り口でポスターを作成。「都会が嫉妬する県」をコンセプトに、都会にはない福井ならではの魅力を発信しています。ターゲット世代に刺さる移住定住活動につなげています。

CASE  
04

テーマ：マイナンバーカードの取得促進  
対象：マイナンバーカード未取得者(特に20~50代の男性)  
担当：市町協働課

## 漫画を使った新聞広告で 未取得者にメリット訴求

思わず読んでしまう“漫画”を使った新聞広告シリーズで、「面倒」「ややこしい」と感じている未申請者にメリットをわかりやすく伝えていきます。3回シリーズで掲載。



CASE  
05

テーマ：小学生のコロナ感染対策  
対象：小学生(特に低学年)と保護者  
担当：新型コロナウイルス感染拡大防止対策チーム



## 子どもに向けた 感染対策を ドリル形式で

子どもが感染対策を怠りがちな場面をドリル形式で問題にしました。コロナ関連の広報は数が多いため、「またか」と思われにくいものを絞り、アウトプットを検討。親子でできる形式とし、家庭や子どもが集まる場面での意識づけを促しています。

↑ 親子でチャレンジドリルはこちら